

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 7名回答、回答率 100%
保護者様： 17名回答、回答率 85%

職員の意見

○環境・体制整備

・机の配置や導線の確保、感染対策も踏まえソーシャルスペースの確保が出来ている。しかし、体を動かす粗大運動はなかなか取り組みにくい。ユニバーサルデザインの面では、トイレ前に小階段があり躓くなどの危険箇所は見られる。段差がある箇所は職員を配置し、安全管理に努めている。

○業務改善

・利用者ニーズに応じた療育が行えるように、細目なMTGや研修を行っている。またご家庭との情報共有を密に行い、不安などの材料がない状態で支援を行っている。
・年次後半には感染症が軽減したが、保護者会や療育参観等の開催が難しく、外部との交流も行えていない。各所との連携を密にし、より質の高い支援を心掛ける。

○適切な支援の提供

・非常勤職員を含めた全職員で活動の企画・立案を行い、ジュニア教室ならではのプログラムが出来るように努めている。
・年次後半には感染症が軽減した為、安全管理対策を行った上で課外活動のプログラムに取り組む事が出来たが、まだ実施数が少ない。

○関係機関や保護者との連携

・今年度に入り他事業所や区の連絡協議会(連絡会)などの実施に参加する事が出来ている。またその会に参加したことで相談支援専門員との連携も取ることが出来ている。
・送迎時には保護者様とご利用生徒について情報交換や困り事を伺う事が出来ている。自主来室、退室の生徒の保護者様には少しでも気になった事があれば電話等の手段でコミュニケーションを取るようになっている。

○保護者への説明責任等

・毎月のニュースレターの発行に加えて、祝日や長期休暇時には活動案内・チラシを作成・配布し、その目的や取り組み内容を周知する工夫を行っている。
・保護者様からのご意見は、法人内スタッフ全員で情報共有し、上長と共に対応方針の検討を行い解決を図っている。

○非常時等の対応

・毎月避難訓練を実施している。【火災・地震・大雨・大雪】などの自然災害だけでなく、最近では不審者対応などの療育活動も取り組んでいる。
・おやつに関してアレルギー対応が必要な生徒には、新規で取り入れるおやつに関しては保護者へ成分表などをメールでお知らせし安全配慮したおやつ提供を実施している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・活動スペースに関しては9割以上の方から十分に確保が出来ているとの声を頂いた。
- ・職員の配置数や専門性に関しては、8割の方から十分に確保が出来ているとの声を頂いたが、残りの方からは「どちらともいえない」との声をいただいた。より細かく保護者の方々に療育内容や改善した点を周知徹底していく必要がある。
- ・環境に関しては、事業所内の急な階段での安全面を考慮し、安全テープの貼付を行ったが、保護者の方からは「どちらともいえない」との声を頂いた為、再度検討する必要がある。

○適切な支援の提供

- ・療育活動や個人課題に対しては、高い評価を頂く事が出来た。引き続き利用者本人や保護者のニーズに沿って支援の提供を行えるように努めていく。また、障害のない子どもとの交流に対しては実施が出来ていないが、「そのような活動への希望はない」と言ったご意見も頂いた。

○保護者への説明等

- ・9割の方から送迎時、メール・電話等で丁寧な説明をしていただいていると満足の声を受けていた。「どちらとも言えない」と言った意見が残り1割だった。自主来室、退室の保護者への説明連絡が不足していると感じている。
- ・また保護者会の実施が出来ていなく、保護者同士の繋がりも持ちにくいと言ったご意見も頂いた。次年度には保護者会・療育参観の実施を目指し、会の後には少しではあるが父母会などで保護者同士の繋がりも取り組んで行けたらと感じる。

○非常時等の対応

- ・非常時の対策としては、6割の方から満足していると評価をしていただけたが、「どちらともいえない」との回答が多くあった為、今後はお便りでの発信やブログなどでの発信を積極的に行い感染対策等の実施状況の周知を徹底していく。

○満足度

- ・通所に対して「満足している・楽しみにしている」との回答が9割程度の評価を頂けた。今後も関係機関や保護者との連携を強め、より個の特性やニーズに沿った支援を提供できるようにスタッフ全員で質の高い教室づくりを行い、ご利用者に満足いただける事業所運営に取り組んでいきたい。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・保護者からのご意見を全職員に共有し、保護者から質問があった際にどのスタッフでも適切な説明が出来るように職員間でのミーティングの機会を増やし、報連相を徹底する。
- ・感染対策を行った上で、保護者会を実施する。
- ・教室の取り組みや活動等を外部の方にも広く知ってもらえるよう、定期的にブログを作成する。
- ・事業所内の階段における安全対策の検討と実施を行う。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・情報交換では、ミーティングを主に正しく周知する事が出来た。イレギュラー対応などでは、報連相が遅れてしまったりした為、今後のスタッフ全員で報連相の徹底を行う。
- ・保護者会について、実施準備や計画が不十分のため今年度内の実施に至らなかった為、次年度の実施に向けてしっかり計画をたてていきたい。
- ・安全対策として、階段に安全テープを貼り滑り止め防止をするなど対策を講じることができた。
- ・定期的に発信するブログ等の作成が出来なかったため、ブログの担当者や毎月の目標件数を設定し取り組んでいく。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・個別課題や集団療育で、利用生徒の特性に合った内容の立案や実施が出来ている。
- ・長期休み等では科学実験や調理等、幅広い内容での集団療育を行っている。
- ・将来の就労を見越して、礼儀やルールを守ることの大切さを教室全体で意識し、規律正しく過ごしている。
- ・ご家庭や関係機関との密な連携をとることでよりよい支援を検討し、支援の満足度につなげることができている。

○改善点

- ・ブログ等の外部に向けた教室の取り組みが不足している為、今後はブログの担当者を決定し月に1件は発信できるように取り組んでいく。
- ・保護者会を開催する事が出来なかったため、次年度において保護者会・療育参観を実施することができるように計画をたてていく。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ①利用者の特性や体格、活動内容などに応じて療育室の配置換えや備品の定期点検を実施することで環境整備に努め、安全に配慮した事業所づくりを行う。
- ②積極的な情報発信、保護者や地域の方との交流の機会の創出により、開かれた事業所運営を目指す。

○1年間で取り組む具体策

①安全な事業所作り

- ・教室への入口階段における安全管理だけでなく、教室内での危険箇所を改めて洗い出し、イラストなどで視覚的な注意喚起を行うことで、スタッフ・利用生徒ともに怪我や事故の予防に努めることができる環境作りを行う。また、定期点検において備品や設備に経年劣化などが見られた場合には、買い替えや修繕を検討する。

②開かれた事業所運営

- ・保護者会及び療育参観の実施に向け、スケジュールや準備物などの企画を進めていく。ジュニアならではの活動(就労週間)など、事業所としての取り組みを多くの保護者の方に知っていただけるように、事前アンケートの実施やオンライン参加についても検討する。
- ・月に一度のブログ更新を行い、保護者・外部の方に事業所の取り組みを周知する。